



鈴木多津枝議員

問 「誰もが安心して暮らせるまち」への所信を問う

質問 所信を問う。

①「誰もが安心して住める町」について②若者定住で子どもが増えている地名保育園再開の考えは？③放課後学童クラブの場所確保を。

は北・中・南で適正配置と思う。③利用が本活が著しく困難となつた者。これに準ずる者で1カ所でもいい位。各にに対し減免できる」規定があるが申請実績は無い。滞納は年々増加し国保税で20年度145世帯、3千677万円ある。



小学校入口にある放棄茶園

の活用調査・検討を支援し、障害物や雑草除去、段差解消、転作経費などを支援する。循環型農業への新たな補助創設は考えていないが、県は有機農業推進計画を策定し、町でも66名のエコファーマー認定者が持続的で環境に優しい農業に取り組んでいる。

質問 景気動向と対策

倒産は無いが小規模事業所で高齢化や採算性を見越した廃業が昨年度12件、今年度6月で2件ある。失業者はハローワーク島田管内で新規求職者1千373人、求人511人。就職280件で就業率20.39%。4月の有効求人倍率は県0.42%、全国0.46%、島田



休園中の地名保育園

町長 ①総合計画を指針に、特色を生かした地域づくり、安心して住み続けられる町、効率的な行政運営を進めてきた。今後は、教育・学習環境の整備、安心して子どもを産み育て高年齢になっても住み続けられる福祉施策の充実、防災・安全対策を進め、地域資源の活用、交流人口増大を町民参加、地域協働で進める体制づくりに努める。情報の公開・共有に努める。②保育園

質問 厳しい経済状況下、滞納や減免状況、負担軽減を。①学校給食費・保育料②介護保険料・国保税・後期高齢者保険料③生活保護申請・受理要件。

町長 ①給食費は準要保護の6世帯10人に給付。保育料減免は生活保護・要保護世帯が対象。現在まで申請はなし。滞納は4月で12世帯16万4千円余。新たな減免は考えていない。談窓口でしっかり対応する。

②介護保険料、国保税、耕作放棄茶園対策と循環型農業支援。

作放棄地を25ha確認した。茶園改植や自力作業道開設に補助を実施しているが、本年度からは最大の原因である担い手確保に向けて共同体の育成や地域で取り組む集団管理体制づくり、茶以外の転作への活用調査・検討を支援し、障害物や雑草除去、段差解消、転作経費などを支援する。循環型農業への新たな補助創設は考えていないが、県は有機農業推進計画を策定し、町でも66名のエコファーマー認定者が持続的で環境に優しい農業に取り組んでいる。

質問 景気動向と対策

倒産は無いが小規模事業所で高齢化や採算性を見越した廃業が昨年度12件、今年度6月で2件ある。失業者はハローワーク島田管内で新規求職者1千373人、求人511人。就職280件で就業率20.39%。4月の有効求人倍率は県0.42%、全国0.46%、島田

答

○安心して子どもを産み育て、高齢になっても住み続けられる福祉施策の充実を進める

②保育園主の死亡や長期入院、

耕作放棄茶園対策と循環型農業支援。

耕作放棄茶園対策と循環型農業支援。

耕作放棄茶園対策と循環型農業支援。